

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎	1年次 後期	選択	2	30	講義	巻末 掲載
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対する フィードバック 方法	在宅看護の様々な実践の場(訪問看護、通所サービス、地域包括支援センター)での看護職の専門性、質の保証に向けた管理の方略について学ぶ。履修者の関心に基づき、実践の場を1つ選択し先行研究等を調べ、プレゼンテーションと討議を通じて、在宅看護の専門性と質向上に向けた方略について考察する。 課題に対するフィードバック方法/提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて講義中に公開する。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③、④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 在宅看護の様々な実践の場について、そこでの看護実践の特徴、課題について理解できる。 2. 在宅看護の質保証に関する理論や方略について理解できる。 3. 在宅看護の実践の場を1つ選択し、既知の知見を整理し、プレゼンテーションできる。 4. プレゼンテーションでの討議をふまえ、在宅看護の質向上に向けた方略を検討できる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	(全回共通)事前に配布される資料を通読し、疑問・意見等を整理しておく。(各60分) (プレゼンテーション)文献検索、教員との事前確認、資料作成、および発表後の資料修正の過程に必要な時間を自律的に配分し、準備する。合わせて他の院生の資料は事前に読み、疑問・意見を整理する。 (レポート課題)プレゼンテーション事例について、討議をふまえ必要な文献検討を加え、レポートを作成する。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	第1回 コースオリエンテーション 在宅看護の実践の場の概略 第2回 在宅看護の基盤となる理念と理論 第3回 在宅看護の実践における専門性① 状態観察の視点 第4回 在宅看護の実践における専門性② 自立支援の視点 第5回 在宅看護の実践における専門性③ 自律支援の視点 第6回 在宅看護の実践における専門性④ 家族支援の視点 第7回 在宅看護の実践における専門性⑤ 医療管理・安全管理の視点 第8回 在宅看護管理① 在宅看護の質の測定と質向上のための方略 第9回 在宅看護管理② 人材の確保と育成 第10回 在宅看護管理③ 組織運営・経営 第11回 在宅看護管理④ 危機管理(災害、感染症等) 第12回 プレゼンテーションと討議① 第13回 プレゼンテーションと討議② 第14回 プレゼンテーションと討議③ 第15回 在宅看護学研究の意義と展望					全て 多次
評価方法 評価基準	授業への参加状況(30%) プレゼンテーション(40%) レポート(30%)					
教科書	なし	参考書等	適時紹介する			